

消防団たずね歩き 兵庫消防団

先日、兵庫消防団の各分団の幹部団員を対象とした消防団活動に関する講習会が開催されました。第3分団からも幹部団員が参加しました。

講習会の前半は、複数のポンプをつないで中継送水を行う場合の理論について、団長の講義がありました。消防団と言えば、力仕事のイメージを持たれる人も多くおられると思いますが、中継送水を行う場合、ポンプの基本的な理論を理解した上で、他のポンプとの連携をとる必要があるので、非常に有意義な講習会となりました。

後日、理論を理解した上で、団員とともに実際の訓練に挑みましたが、これまた理論通りにいかない学びの多い訓練となりました。結局のところ、理論も大切、実践も大切、そして何よりも、このような経験を団員とともに積み重ねる日々の訓練の重要性に、改めて気付かされました。

講習会の後半は、中学生の防災ジュニアチーム（Bosai Jr.消防団ひょうご）と一緒に訓練をするにあたり、我々大人が中学生と接する際に注意すべき点について、防災ジュニアチームの山崎顧問による講義があり、現在の中学生のマインドについて色々とお教示して頂きました。

こちらの講義につきましては、実例を挙げて、今の中学生の考え方や行動について教えて頂いたのですが、各世代でどのような教育を受けたかによって、人は変わるものだと痛感致しました。

我々は、普段自分が生きてきた世代の基準で他の世代の人に接しているのですが、他の世代の人は全く異なるマインドであることがあり、中学生のみならず、他の世代の人と接する場合にも、これらに対する配慮が必要だと、今回の講義を受講して考えさせられました。普段の生活でも生かせる非常に実りのある話を聞くことができました。

神戸市兵庫消防団 第3分団 分団長 千々松芳弘

